



おらほ

集落地図で町のあれこれ再発見

家族・友人みんなで見てみよう

2005（平成17）年に、牟礼村と三水村が合併して生まれた飯綱町。来年には、町制施行20周年を迎える。町名は「牟礼村・三水村合併協議会が公募を実施した結果、70件を越す応募があり、中でも20歳未満の応募者のうち、約58%が飯綱（いいづな）に関する名称を応募した。その後「新町村の名称住民アンケート」（12歳以上）を実施した結

果、「飯綱町」が約51%の支持を得て（いいづな町20・31%、飯綱村13・83%、いいづな村9・35%、鳥居川町3・37%）、同協議会により最終決定・命名された」（令和4年飯綱町統計資料より一部抜粋）。

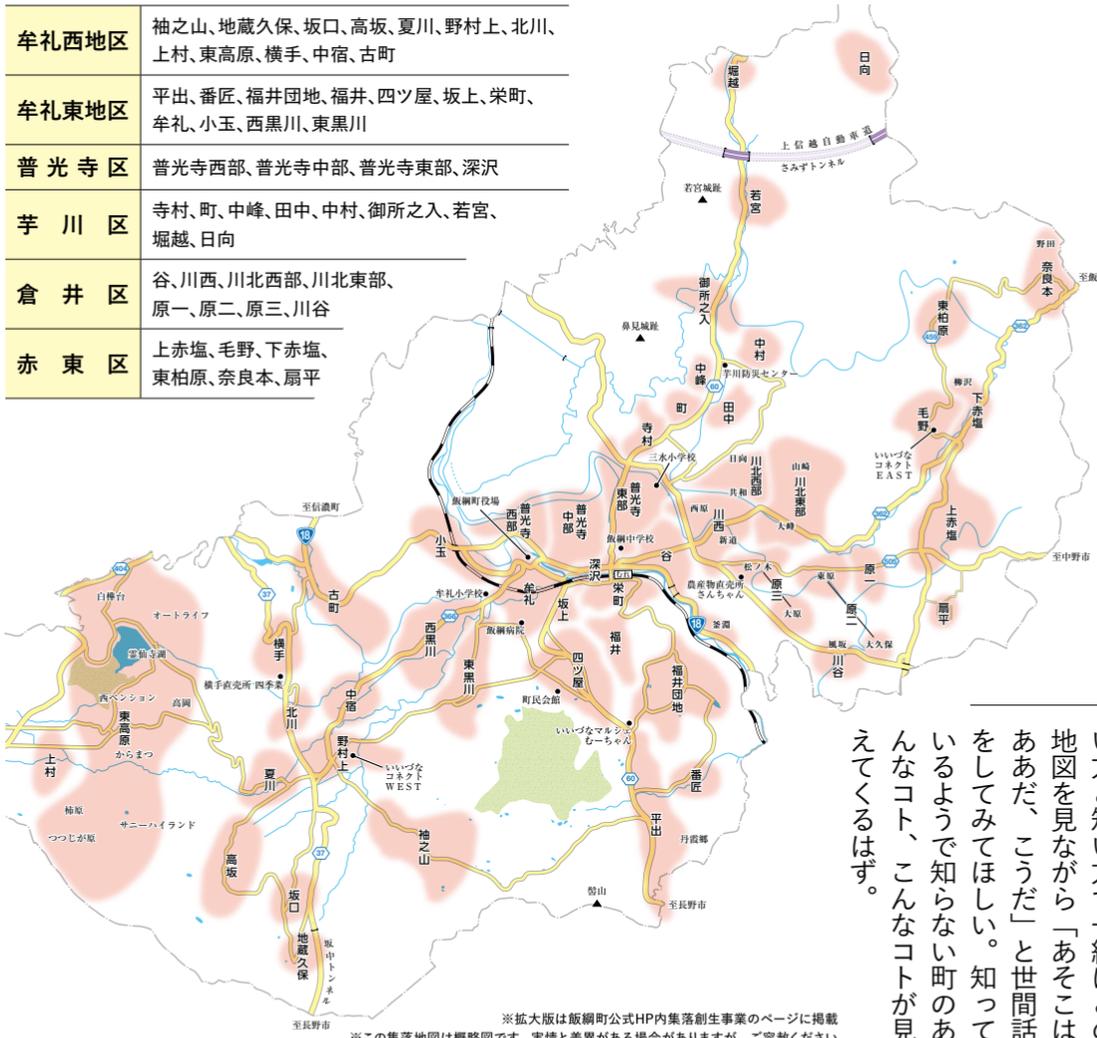
歴史を遡ると、牟礼村は1955（昭和30）年に、高岡村と中郷村が合併して誕生。このほかにも地域や集落それぞれに成り立ちが

あり、その歴史は地名や地元住民の間での通称から垣間見ることが出来る。

しかし、ある移住者の集まりで「町内の地区名を聞いてもパツと思ひ浮かばない」という声を聞いた。そこで今回、改めて自分が住んでいる集落や、親戚や知人が住んでいる集落などを確認する機会になればと、集落地図を作成（左図）。

ぜひ、町民（村民）歴の長い方と短い方で一緒にこの地図を見ながら「あそこはああだ、こうだ」と世間話をしてみてほしい。知っているようで知らない町のあんなコト、こんなコトが見えてくるはず。

牟礼西地区	袖之山、地藏久保、坂口、高坂、夏川、野村上、北川、上村、東高原、横手、中宿、古町
牟礼東地区	平出、番匠、福井団地、福井、四ツ屋、坂上、栄町、牟礼、小玉、西黒川、東黒川
普光寺区	普光寺西部、普光寺中部、普光寺東部、深沢
芋川区	寺村、町、中峰、田中、中村、御所之入、若宮、堀越、日向
倉井区	谷、川西、川北西部、川北東部、原一、原二、原三、川谷
赤東区	上赤塩、毛野、下赤塩、東柏原、奈良本、扇平



※拡大版は飯綱町公式HP内集落創生事業のページに掲載
※この集落地図は概略図です。実情と差異がある場合がありますが、ご容赦ください

オラホの地域のコトを自分ゴトに

地域おこし協力隊 三原彩音

飯綱町が、町の独自予算で集落創生事業をスタートさせて今年で10年になりました（前身の集落活性化支援事業を含む）。町内には50（牟礼地区23区、三水地区27組）の集落がありますが、実際に集落創生事業に取り組んでいる、もしくは、取り組んだのは、17地区。取り組むための計画を策定中が3地区です（2024年9月1日時点）。

具体的には、地区内の住民同士の交流を促進するイベントの開催や、花植え・植樹による景観の保護、住民が集う場・地区内遊歩道の整備などに取り組みんでいます。こうした地域活動を通して、集落創生事業の目的である「弱りつつある集落の自治機能や、少なくなっている住民同士の交流を復活・維持・活性化させること」を少しでも達成できたと言える地区は多いのではないのでしょうか。

ただ、課題が山積しているのも事実です。

①「正直、地域活動は『ゴシタイ』が本音②担い手がいない③結局いつものメンバーが担い手に④金の切

飯綱町公式HP

集落創生事業の詳細はこちらから

れ目が事業の切れ目！。こうした課題を解決する一つの手段として、私から提案したいのは「地域活動は、50〜60代のみなさん中心にお願いします！」ということ。これまで、本紙創刊号・第2号でも、若者や女性のみなさんに地域活動への参加を呼びかけてきました。しかし現状は、現役世代は忙しく、時間的にも経済的にも余裕がなく、年に何回かの道普請や草刈りに出ていくので精一杯という世帯が多いのではないのでしょうか。

そこで、子育てが落ち着いたり、定年退職を迎えたりと、時間的にも経済的にも比較的安定している50〜60代のみなさんに地域のことを「いっちょ」頑張ってもらいたい。そうすることで、今の現役世代が年を重ね、50〜60代になった時に「現役時代にやっても良かったから」と地域のことに関心を持って積極的に取り組むようになるという好循環を生み出すことができるのではないかと考えています。もちろん、引き続き、女性や若者のみなさんの活躍も大歓迎です。

とにもかくにも、まずは「私は関係ない」ではなく、より多くの町民のみなさんに、オラホの地域の今・未来に興味・関心を持っていただき、ちらっとでも自分ゴトとして考えていただけたらと思います。

集落創生事業とは

高齢化や人口減少により、弱りつつある集落の自治機能や、少なくなっている住民同士の交流を復活→維持→活性化させることを目的に、集落にあるさまざまな資源を活用したり、住民のアイデアを形にしたりする事業です。現在、そうした活動に町が経済的な支援を行っています。おおむね5年を目安に上限300万円を、その前段階として計画を策定することに対して上限5万円を交付しています。

現在（2024年9月時点）、
福井団地・西黒川・下赤塩が計画策定中!!
高坂・北川が計画策定に向けて画策中!!

- ①事業の中心となる住民グループ（委員会）を結成
- ②集落の課題を総ざらいする

③集落の将来を考える

- ④事業計画をつくる
- ⑤事業を実施する

集落創生事業実施までの
おおまかな流れ

課題

- ・高齢者のみの世帯増加
- ・耕作放棄地、空き家増加
- ・ゴミ出しや電球の交換、買い物、雪かき、草刈り等に困る高齢者世帯がある、増えてきた
- ・子どもが安全に自由に遊べる場所がない
- ・コロナ禍を機に住民同士の交流減少
- ・若者が集落に帰ってこない

希望

- ・若者や子どもがいる集落に
- ・耕作放棄地や空き家を有効活用
- ・住民同士が気兼ねなく助け合える集落に
- ・施設や公園をきれいに守りたい
- ・集落に対して子どもや若者が愛着を持てるように
- ・若者が帰ってきたいと思える集落に

計画

- ・助け合いの仕組み設立
- ・集会施設を活用して、イベント開催
- ・多世代が楽しめるイベント開催
- ・集落内の伝統や歴史的な文化財について知り、守り、引き継ぐ取り組みを実施

あんなコトこんなコトも「集落創生」になる!?

飯綱町には、50の集落がありますが、それぞれに歴史と資源があり、それらを踏まえた仕組みを持ち、住んでいる人もその立場・背景も異なるため、「集落創生事業」と一口に言っても、何が集落の創生になるのか、何が集落の将来のためになるのかは、さまざまです。だからといって0から何かを起こすのは本当にゴシタイし、ズクがいらいます。そこで!「オラホだったら何が出来るのか?」を考える時に、参考になりそうな事例を紹介しします。まずは真似ることからはじめませんか?

向こう三軒両隣。おとなりさんに醤油を借りる。集落活動の活性化や地域コミュニティの今後について話し合う時、必ず話題になるのが、そんな近所付き合いが昔は当たり前に行われていたという話。

しかし、時代の流れとともに、人は減り、高齢者が増え、「近所付き合い」の価値観は変わった。ただ、この「近所付き合い」の延長にある「地域のコト」と言われる、道

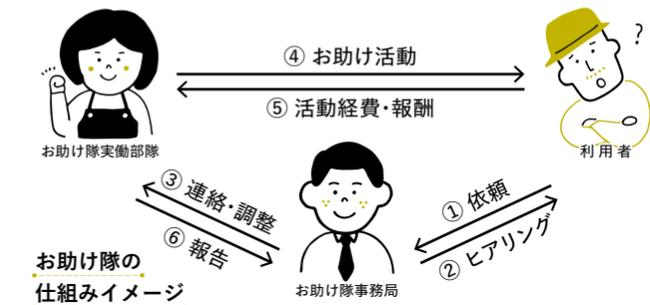
普請や草刈り、除雪、高齢者世帯の見守りや子ども育成会活動などを「やらなくてよくなった」という訳でもない。むしろ行政サービスの担い手不足により、地域のコトは地域で何とかしなければならぬ状況にあると言っても大げさではないだろう。

こうした課題は、飯綱町のような過疎地域に限らず、全国各地で起きている。そこで、解決策の一つとして、近年、多く

他地域 お助け隊で 近所付き合い復活 住民相互有償ボランティア

の地域で取り組まれていて、互いに有償で助け合う仕組みづくりだ。「お助け隊」といった名前を取り組まれていることが多い。

具体的には、高齢者のみの世帯の家のゴミ出しや電球の交換、障子の張替え、庭の草刈りや除雪などを、集落内の住民が有償で助ける。また、子育て世帯の家事サポートや子どもの一時的預かりを集落内の元気な高齢者が請け負うといった例もある。助ける側と助けられる側のマッチング方法や報酬額、助ける内容などは、地域によってさまざまだが、こうした仕組みづくりがきっかけで、希薄になっていた近所付き



合いが前向きに復活したという声もある。「集落創生」の一つの手段として有効かもしれない。

袖之山 YouTube チャンネル創設 地域の風景を動画で残す



袖之山区は、集落創生事業の一環で、地区のPRを目的とした動画を制作し、YouTubeチャンネルを創設した。

まずは、古くから地区に伝わる獅子舞とお囃子を後世に伝え、残すことを目的に動画を撮影・編集し、YouTubeに掲載することを計画。袖之山区でも獅子舞の舞いや笛のメロディー、太鼓のリズムは口伝が基本。そこで、獅子舞やお囃子の担い手不足解消のためにも、誰でもできるだけ簡単に獅子舞やお囃子を習得できるように、動画を制作し、YouTubeに掲載した。

そしてこれを皮切りに、袖之山の四季折々の風景を映した動画も作成

し、YouTubeに掲載。地区に人を呼び込む一助にしようとしてシダレザクラをはじめとする袖之山の魅力を地区外の人に向けて発信している。

この動画の制作に関する作業は、動画の撮影や編集、SNS等への掲載を専門としている町内の業者に依頼した。

集落創生事業について話し合うなかで良いアイデアが出たけれど、自分たちでやるのはちょっと。そんな時は、無理に自分たちに頼んでしまうのも一つの手。そうやって自分たちの負担を減らしつつ、効率性と質を担保することも事業を持続可能なものにする手立てだ。

いろいろな検定試験問題案募集!

「ご当地検定」をご存じでしょうか? 地域の歴史・文化・観光などについて学び、さまざまな魅力を再発見することで、地域への関心・愛着・誇りを育ててもらおうと、全国各地で実施されています。当該地域の出身者や住民だけでなく、その地域のファンにもチャレンジしてもらおうなどすることで、地域おこしにつなげています。

飯綱町でも、町のことを今一度知り、考えてもらうきっかけにしようとして「いろいろな検定」を実施することにしました。

そこで!この「いろいろな検定」の試験問題案を町民のみなさんから募集します。下記二次元コードより、奮ってご応募ください!

出題形式や実施時期などの詳細は未定です。決まり次第、お知らせします!

ご応募はこちらから▶ 12月31日締切!!

「集落創生事業」の周知・推進を目的に、昨年創刊して、今回で第3号となります。過去2回は、事業の認知拡大に力を入れてきましたが、今住んでいる地域に対する興味・関心や愛着(郷土愛・シビックプライド)を育むことも必要なのではないかと考え、今回から、町について今一度知り、関心を寄せ、愛着を持つきっかけになるような新聞に仕上げました。まだまだ知らないことばかり。一緒に地域の魅力を再発見しましょう!

(三原)

よくある Q&A

- Q1 他の区や組と一緒に取り組むのはあり?**
- A1. あります。複数の区または組が、共同で計画策定や事業実施をする形もOKです。特に、現時点で世帯数が少ない集落は、お隣の集落と共同で取り組むことで横のつながりを強固にするきっかけになるのではないのでしょうか
- Q2 集落創生事業に取り組みたい!と思っているけど、まずは何からしたら良い?**
- A2. 区長または組長さんに相談しながら、同じ区または組の中で同じ思いを持つ人や共感してくれる人を集めて、住民グループ(委員会)をつくりましょう。老若男女問わず、さまざまな立場の住民の方がかかわる形をめざしましょう
- Q3 集会施設の改修や区または組の備品の購入にしたい!**
- A3. イベントの開催などといったソフト事業を伴わない単なる集会施設の改修や備品の購入のためだけに交付金を使用するのはNGです。ちなみに…集会施設の改修については別途、企画課に相談を。条件次第で別の補助制度が利用できます
- Q4 やりたいことがあるけれど、集落創生事業の趣旨に合っていないかわからない。どうしたら良い?**
- A4. まずは一度ご相談ください。集落創生事業以外の方法のご提案もさせていただきます
- その他、どんな些細なことでも構いません。疑問や気になることがありましたら、お気軽にご相談ください
- (問) 飯綱町役場 企画課地域振興係・地域おこし協力隊 ☎026-253-2512